



FRI Business Incubation News

2006年3月24日

「ボランティアホリデー」(国土交通省+総務省) FRI内に事務局を置いて支えています

ボランティアホリデーとは <http://www.vol-h.org/>
「都市部に住む人が農山漁村に短期あるいは長期間滞在して、ボランティア活動をすることで地域に役に立ち、地域住民と交流を深め、気に入れば永住する機会を提供するしくみです」

こんな仕事があります

北海道	ログハウス製作、タンチョウヅルの保護
山形県	野菜やりんご、さくらんぼの収穫、バラの収穫栽培
高知県	ゆず栽培、地鶏の世話、陶芸の土作り、天日塩作り
鹿児島県	焼酎原料の芋切り、プリの出荷、ぼんたん袋取り

若い人からシニアまで幅広い参加があります。地域においては、農作業の手伝いから専門技術が必要なことまで幅広い分野で人手が求められています。一方参加する方もいろいろ工夫をすることで役に立ち、作業を通して地元の中に溶け込んだ人も多くいます。

このような取り組みは幾つかあり、その中ではセカンドハウスを持つ人、永住する人も出始めています。スローライフ指向の方々、第2の人生をゆっくりとしかも生き甲斐を持って送りたい方の選択の一つです。予め体験することで安心して移住したり、特定の季節だけ楽しむというバラエティーに富んだライフスタイルを実現できます。

問い合わせ先 富士通総研 公共コンサルティング事業部
Tel:03-5401-8396 担当:安藤、藤原

解説

新しいタイプの地域活性化

これまでの地域活性化は、公共事業による需要の刺激や産業集積、工場誘致が主体でした。しかし、実際には成功例は少ないのが実態です。ボランティアホリデーは、比較的経済に余裕のあるシニアの誘致で消費を拡大し、若者や働き盛りの人には短期間労働力を提供してもらう形の少子高齢化対策です。新しい型の地域活性化策と言えるでしょう。

どんなビジネスが生まれるか

人と人との交流、人の移動を狙ったものですから、直ぐに大きな産業に結びつくものではないでしょう。

でも、新しいライフスタイルとして定着すれば、次に情報の循環が始まります。お仕着せの情報ではなく、実体験に基づいたビビッドで痒いところに手の届く情報です。動画を使った疑似体験やシミュレーションなどが楽しめるでしょう。一人ひとりがわくわくするような情報流通です。

また、最近は旅行代理店も観光だけでなく、体験を織り込んだツアーに力を入れています。旅行の楽しみ、実体験、さらにショートステイなどを織り交ぜた新しい日本型パッケージの提案です。